

2011年1次科目合格目標

戦略的「科目合格」のススメ

1次科目パック生

1次3科目パック生 (情報・法務・中小) 全28回+1次公開模試

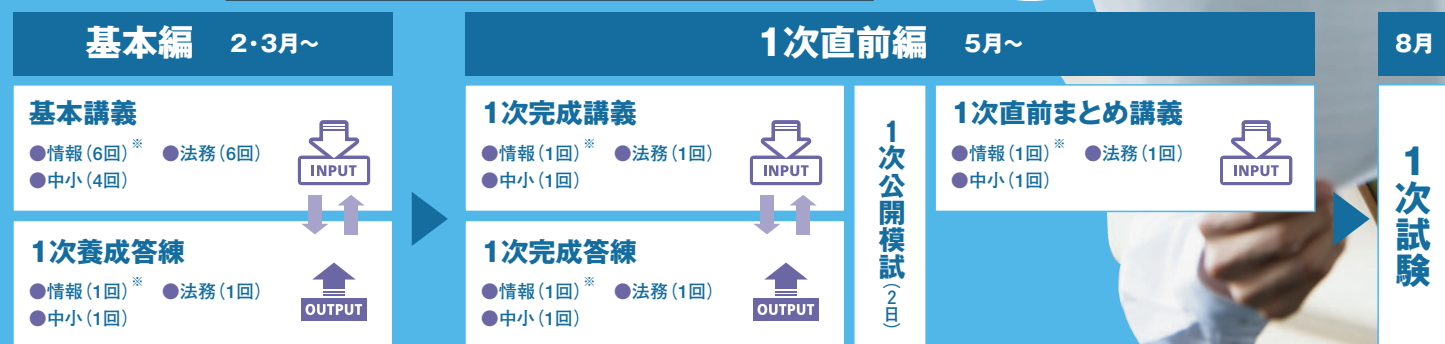
1次2科目パック生 (法務・中小) 全18回+1次公開模試

「今の時期はあまり時間が取れない」「期間に余裕を持って合格を目指したい」
そんな方は、まずは2011年度での「科目合格」を目指しましょう!

2・3月
開講

■ カリキュラム

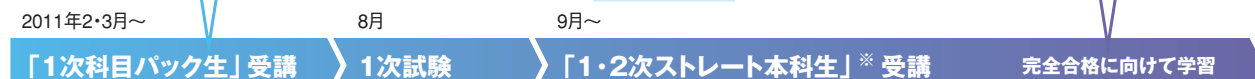
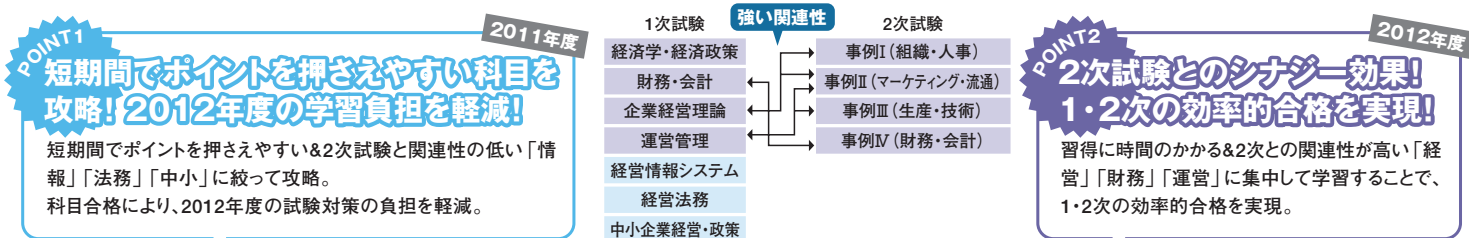
情報…経営情報システム 法務…経営法務 中小…中小企業経営・政策



※経営情報システムは3科目パック生のみに含まれます。 ※経済学・経済政策を含む1次4科目パック生(経済・情報・法務・中小)もございます。

■ 1・2次試験完全合格までの流れ

2011年度1次科目合格! → 2012年度1次完全合格+2次合格!



POINT3 割引制度で受講料がお得に!

1次科目パック生を受講すると、2012年合格目標1・2次ストレート本科生※を「再受講割引受講料」でお申込み可能。また、1次合格科目について「科目免除割引制度」を利用することで、受講料がさらにお得に。

※1・2次ストレート合格を目指すTACのスタンダードコースです。

※2012年目標の詳細については、5月上旬完成予定のパンフレットをご確認ください。

2012年目標コース (予定価格) ※

●教室講座 通常受講料 ¥260,000 → 再受講割引受講料 ¥195,000

●1科目免除につき ¥10,000割引

※上記は2011年目標コース時の受講料です。2012年目標では変更になる場合がございます。

2012年8・10・12月
1次・2次試験

合格

2011年度のストレート合格を目指す方

2011年合格目標「1・2次ストレート本科生」「1・2次ストレート速修本科生」を受講ください。
コース詳細は、TAC中小企業診断士講座パンフレットまたはホームページをご覧ください。

TAC 診断士

検索



学習を始めるにあたってお悩みの方

学習を始めるにあたってお悩みの方は、ガイダンスにお越しください。講師に直接、ご相談いただけます。
ガイダンスに出席できない方は、「受講相談メール」にお問い合わせください。
講師・スタッフが個別に回答いたします。

→ 受講相談メール sindansi1@tac-school.co.jp

現役の中小企業診断士が“熱く”語ります!

迷っている方は今すぐガイダンスにご参加ください!

予約
不要

参加
無料

試験制度や学習方法、資格の魅力等について、現役の中小企業診断士が語ります。予約不要、参加無料です。直接会場にお越しください。ガイダンス終了後には、学習を始めるにあたっての疑問や不安を講師に質問できる「個別相談コーナー」も開催します。



参加者 特別プレゼント!

プレゼント1

「合格の秘訣」
中小企業診断士
合格者が公開する
体験記集
(TAC BOOK)



プレゼント2

参加者特典
¥10,000
入会金免除券プレゼント

プレゼント3

体験講義DVD+
見本テキスト
●講座資料一式
●見本教材 等



■ ガイダンステーマ・日程

戦略的「科目合格」のススメ

2012年度を視野に入れ、2011年度の「科目合格」を目指す戦略についてお伝えします。2011年度に受験すべき科目や完全合格までのプラン等が明確になります。

【時間】ガイダンス約70分→ガイダンス終了後に個別相談コーナー約30分(参加自由)

	仙台校	新宿校	池袋校	渋谷校	八重洲校	町田校
	日程	日程	日程	日程	日程	日程
2月	—	9(水)	11(金・祝)	—	17(木)	—
3月	12(土)	12(土)	—	6(日)	9(水)	13(日)
時間帯	土日祝/11:00~	平日/19:00~ 土日祝/17:30~	土日祝/11:00~	土日祝/11:00~	平日/19:00~	土日祝/14:00~

	横浜校	津田沼校	名古屋校	なんば校	広島校	福岡校
	日程	日程	日程	日程	日程	日程
2月	11(金・祝)	13(日)	6(日)	13(日)	19(土)	19(土)
3月	—	—	12(土)	12(土)	—	—
時間帯	土日祝/11:00~	土日祝/14:00~	土日祝/11:00~	土日祝/11:00~	土日祝/15:00~	土日祝/13:30~

TAC動画チャンネルで 当ガイダンスを無料配信!

自らも2カ年計画で1次科目合格→翌年度1次・2次完全合格を果たしたTAC専任講師の市来先生をゲストに迎え、洞口先生が戦略的「科目合格」について語ります。

【配信期間】2011/2/7(月)~4/30(土)

TAC 診断士 動画チャンネル

検索



■ 開講日 ※各科目の講義日程は、日程表にてご確認ください。

教室講座

コース名	開講日
1次4科目バック生(経済・情報・法務・中小)	随時入学可
1次3科目バック生(情報・法務・中小)	2/14(月)より順次開講
1次2科目バック生(法務・中小)	3/14(月)より順次開講

※教室開講日は校舎・クラスにより異なります。詳細は日程表にてご確認ください。

ビデオ(DVD)講座

コース名	開講日
1次4科目バック生(経済・情報・法務・中小)	随時視聴可
1次3科目バック生(情報・法務・中小)	2/10(木)より順次視聴
1次2科目バック生(法務・中小)	2/21(月)より順次視聴

Web通信講座

DVD通信講座

ダウンロード通信講座

カセット通信講座

コース名	教材発送開始日	配信開始日
1次4科目バック生(経済・情報・法務・中小)	随時発送	随時配信
1次3科目バック生(情報・法務・中小)	随時発送	2/10(木)より順次配信
1次2科目バック生(法務・中小)	2/7(月)より順次発送	2/21(月)より順次配信

■ 通常受講料(5%税・教材費込み)・コード一覧 ※0から始まる会員番号をお持ちでない方は、受講料のほかに別途入会金¥10,000(5%税込)が必要です。

教室講座

コース名	コースNo.	クラスNo.																										通常受講料										
		仙台		新宿		池袋		渋谷※			八重洲			立川		町田		横浜		大宮		津田沼		名古屋		京都			梅田		なんば		神戸		広島		福岡	
		土曜	平日夜	土曜	日曜	平日夜	日曜	平日夜	土曜	日曜	平日夜	土曜	日曜	平日夜	土曜	日曜	平日夜	土曜	日曜	平日夜	土曜	日曜	平日夜	土曜	日曜	平日夜	土曜		日曜	平日夜	土曜	日曜	平日夜	土曜	日曜	平日夜	土曜	日曜
1次4科目バック生(経済・情報・法務・中小)	111-301	J2	G1	G2	G3	21	23	L1	L2	L3	F1	F2	F3	M2	A3	31	33	C2	V3	41	43	52	61	63	B2	E2	N3	73	¥112,000									
1次3科目バック生(情報・法務・中小)	111-304	J2	G1	G2	G3	21	23	L1	L2	L3	F1	F2	F3	M2	A3	31	33	C2	V3	41	43	52	61	63	B2	E2	N3	73	¥ 84,000									
1次2科目バック生(法務・中小)	111-307	J2	G1	G2	G3	21	23	L1	L2	L3	F1	F2	F3	M2	A3	31	33	C2	V3	41	43	52	61	63	B2	E2	N3	73	¥ 56,000									

※渋谷校土曜クラスについては同時放映クラスで受講いただく場合がございます。

ビデオ(DVD)講座

コース名	コースNo.	クラスNo.																		通常受講料	
		札幌	仙台	水道橋	新宿	池袋	渋谷	八重洲	立川	町田	横浜	大宮	津田沼	名古屋	京都	梅田	なんば	神戸	広島		福岡
1次4科目バック生(経済・情報・法務・中小)	111-301	K0	J0	20	G0	30	L0	F0	M0	A0	40	C0	V0	50	60	70	B0	E0	N0	80	¥112,000
1次3科目バック生(情報・法務・中小)	111-304	K0	J0	20	G0	30	L0	F0	M0	A0	40	C0	V0	50	60	70	B0	E0	N0	80	¥84,000
1次2科目バック生(法務・中小)	111-307	K0	J0	20	G0	30	L0	F0	M0	A0	40	C0	V0	50	60	70	B0	E0	N0	80	¥56,000

DVD通信講座

カセット通信講座

コース名	コースNo.	クラスNo.		通常受講料	
		DVD	カセット	DVD	カセット
1次4科目バック生(経済・情報・法務・中小)	111-302	96	93	¥120,000	¥112,000
1次3科目バック生(情報・法務・中小)	111-305	96	93	¥90,000	¥84,000
1次2科目バック生(法務・中小)	111-308	96	93	¥60,000	¥56,000

Web通信講座

ダウンロード通信講座

コース名	コースNo.	クラスNo.		通常受講料	
		Web	ダウンロード	Web	ダウンロード
1次4科目バック生(経済・情報・法務・中小)	111-303	W1	W5	¥112,000	¥112,000
1次3科目バック生(情報・法務・中小)	111-306	W1	W5	¥84,000	¥84,000
1次2科目バック生(法務・中小)	111-309	W1	W5	¥56,000	¥56,000

お問い合わせ・パンフレットのご請求はこちらから

フリーダイヤル



0120-509-117

※携帯・自動車電話、PHS、衛星電話からもご利用になれます。

受 9:30~19:00
付 (月曜~金曜)
時 9:30~18:00
間 (土曜・日曜・祝日)

携帯電話からのご請求

<http://m.tac-school.co.jp/>

バーコード対応機種で
読み取ってアクセスしてください。



TACホームページからのご請求

最新情報を掲載! メールマガジン登録も無料受付中!

<http://www.tac-school.co.jp/>

TAC

検索

試験ガイド

第1次試験

8月

企業経営やコンサルティングに関する基本的な知識を問う試験

1次試験は、中小企業診断士に必要な知識を有するかどうかを判定することを目的とし、マークシート形式により行なわれます。なお、他の国家資格の合格者などに対しては、申請により試験科目の一部免除が認められています。

- 試験実施科目：7科目
- 試験問題形式：マークシート方式による多肢選択式
※四肢択一または五肢択一

1次試験概要

受験資格	年齢・性別・学歴等に制限はなし		
試験実施日	8月上旬〔2010年度は8月7日(土)、8日(日)〔2日間〕〕		
試験科目	試験科目		配点
	1日目	A. 経済学・経済政策	60点 100点
		B. 財務・会計	60点 100点
		C. 企業経営理論	90点 100点
		D. 運営管理 (オペレーション・マネジメント)	90点 100点
	2日目	E. 経営法務	60点 100点
		F. 経営情報システム	60点 100点
		G. 中小企業経営・中小企業政策	90点 100点
実施地区	札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡〔2010年度〕		
合格発表	9月上旬〔2010年度は9月7日(火)〕		
合格基準	①	総点数による合格基準	総点数の60%以上であって、かつ1科目でも満点の40%未満のないことを基準とし、試験委員会が相当と認めた得点比率とする。
	②	科目ごとによる合格基準	科目合格基準は、満点の60%を基準として、試験委員会が相当と認めた得点比率とする。
合格の有効期間	●1次試験合格(全科目合格)の有効期間は2年間(合格年度とその翌年度まで2次試験を受験できる) ●1次試験合格までの科目合格の有効期間は3年間(翌年度と翌々年度まで合格した科目を免除申請できる) ※3年以内に7科目のすべてに合格することで1次試験合格となる		
受験料	14,400円(税込)〔2010年度〕		

1・2次試験の全体像は ▶ 24ページ

1次試験科目ガイドは ▶ 25ページ

第2次試験

筆記試験〈10月〉＋口述試験〈12月〉

企業の問題点や改善点などに関して解答する筆記試験と面接試験

2次試験は、中小企業診断士に必要な応用能力を有するかどうかを判定することを目的とし、中小企業の診断及び助言に関する実務の事例並びに助言に関する能力について、筆記および口述の2段階の方法により行なわれます。

- 試験実施科目：〈筆記〉4科目
〈口述〉筆記試験出題内容をもとに4～5問出題
- 試験問題形式：〈筆記〉各設問15～120文字程度の記述式
〈口述〉10分程度の面接

2次試験概要

筆記試験	受験資格	1次試験合格者 ●1次試験合格(全科目合格)年度とその翌年度に限り有効 ●2000年度以前の1次試験合格者は1度に限り有効			
	試験実施日	10月中旬～下旬〔2010年度は10月24日(日)〕			
	試験科目	試験科目	時間	配点	
		午前	【事例Ⅰ】組織(人事を含む)を中心とした経営の戦略および管理に関する事例	80分	100点
			【事例Ⅱ】マーケティング・流通を中心とした経営の戦略および管理に関する事例	80分	100点
午後		【事例Ⅲ】生産・技術を中心とした経営の戦略および管理に関する事例	80分	100点	
	【事例Ⅳ】財務・会計を中心とした経営の戦略および管理に関する事例	80分	100点		
実施地区	札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡〔2010年度〕				
筆記試験結果発表	12月上旬〔2010年度は12月10日(金)〕				
口述試験	受験資格	当該年度の2次筆記試験合格者 ※口述試験を受ける資格は当該年度のみ有効であり、翌年に持ち越すことはできません。			
	試験実施日	12月中旬〔2010年度は12月19日(日)〕			
	実施方法	中小企業の診断及び助言に関する能力について、筆記試験の事例などをもとに、個人ごとに面接			
	実施時間	約10分間			
	実施地区	札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡〔2010年度〕			
	合格発表	12月下旬～1月上旬〔2010年度は1月6日(木)〕			
合格基準	筆記試験における総点数の60%以上で、かつ1科目でも満点の40%未満がなく、口述試験における評価が60%以上であることを基準とする。				
合格の有効期間	2次試験合格後、3年以内に実務従事・実務補習を受ける必要がある。				
受験料	17,900円(税込)〔2010年度〕				

2次試験科目ガイドは ▶ 28ページ

中小企業診断士試験合格までの道のり

中小企業診断士になるまでには、1次試験、2次(筆記・口述)試験、実務補習・実務従事の3段階のステップがあります。
※当案内は2010年度試験実施例を基に作成しています。試験要項は、例年試験実施年度の4月上旬～5月上旬に発表されます。

実務補習・実務従事

2月・3月・7月・8月・9月

コンサルティングの実践

実務補習・実務従事は、中小企業診断士として診断実務能力を有するかを実務を通して判断することを目的とし、第2次試験合格後、3年以内に実務補習を15日以上受けるか、実務に15日以上従事することにより、中小企業診断士としての登録の申請を行なうことができます。

実務補習・実務従事概要

(1) 実務補習

●登録実務補習機関による実務補習
受講資格：中小企業診断士第2次試験合格者の中で、3年を経過していない方。

実施期間／実施地区 (2010・2011年度例)		札幌	仙台	東京	名古屋	大阪	広島	福岡
2010年	7/1(木)～7/12(月) 〔5日間コース〕	○	○	○	○	○	○	○
	8/19(木)～8/30(月) 〔5日間コース〕	—	—	○	○	○	—	—
	9/9(木)～9/21(火) 〔5日間コース〕	○	○	○	○	○	○	○
2011年	2/3(木)～2/14(月) 〔5日間コース〕	○	○	○	○	○	○	○
	2/3(木)～3/14(月) 〔15日間コース〕	○	○	○	○	○	○	○

※5日間コースを受講される場合には、第2次試験合格後3年以内に3回受講することが必要です。

■実務補習の標準的な流れ(5日間コース例)

実施約1週間前	指導員からメールにて、企業概要の提示や事前準備作業の指示
第1日目～第4日目	グループ別打ち合わせ、企業等の訪問・調査、資料分析、診断報告書の作成など
第5日目	企業等への報告会など〔修了証書発行〕

※5日間コースは1企業(等)、15日間コースは3企業(等)の実務補習を行う。

- ② 受講手数料 5日間コース…50,000円(税込)
15日間コース…150,000円(税込)

- ③ 中小企業基盤整備機構、都道府県等中小企業支援センターにおける実務補習

(2) 実務従事

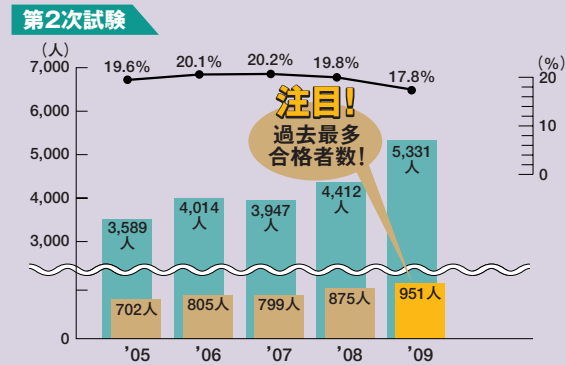
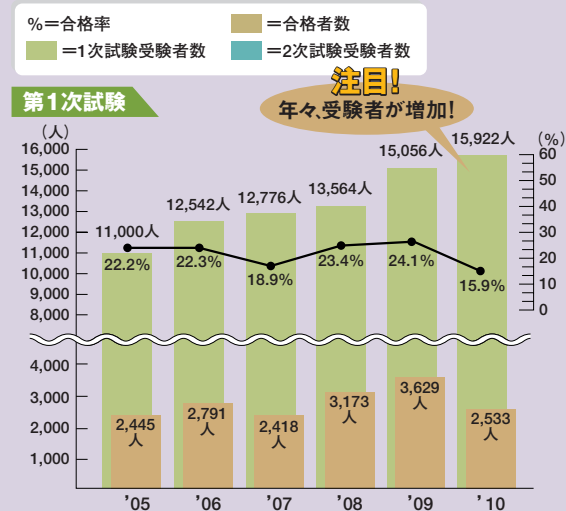
- ① 国・都道府県等、中小企業基盤整備機構または都道府県等中小企業支援センターが行う診断・助言業務
- ② 中小企業基盤整備機構または都道府県等中小企業支援センターが行う窓口相談等の業務
- ③ 中小企業に関する団体が行う中小企業の診断・助言または窓口相談等の業務
- ④ その他の団体または個人が行う診断・助言または窓口相談等の業務
- ⑤ 中小企業の振興に関する国際協力等のための海外における業務

合格者の実務補習体験を
TACホームページで公開中！

TAC 診断士 検索

実務補習ガイドは ▶ 30ページ

受験者数・合格者数・合格率の推移



※その他の合格者に関する統計資料は32ページをご覧ください。

◆ 他資格等保有による免除対象者 ダブルライセンスに有利

科目免除	科目免除対象者 (2010年度試験実施例)
経済学・経済政策	大学等の経済学の教授・准教授・旧助教授(通算3年以上)
	経済学博士
	公認会計士試験または旧公認会計士試験第2次試験において経済学を受験して合格した者
財務・会計	不動産鑑定士、不動産鑑定士試験合格者、不動産鑑定士補、旧不動産鑑定士試験第2次試験合格者
	公認会計士、公認会計士試験合格者、会計士補、会計士補となる有資格者
経営法務	税理士、税理士法第3条第1項第1号に規定する者(税理士試験合格者)、税理士法第3条第1項第2号に規定する者(税理士試験免除者)、税理士法第3条第1項第3号に規定する者(弁護士または弁護士となる資格を有する者)
	弁護士、司法試験合格者、旧司法試験第2次試験合格者
経営情報システム	技術士(情報工学部門登録者に限る)、情報工学部門に係る技術士となる資格を有する者
	次の区分の情報処理技術者試験合格者(ITストラテジスト、システムアーキテクト、応用情報技術者、システムアナリスト、アプリケーションエンジニア、システム監査、プロジェクトマネージャ、ソフトウェア開発、第1種、情報処理システム監査、特種)

※科目免除者および科目合格者は科目免除割引制度をご利用いただけます。詳しくは71ページをご覧ください。

試験・実務補習に関する問い合わせ

社団法人 中小企業診断協会

〒104-0061 東京都中央区銀座1-14-11 銀松ビル5階

◆TEL 03-3563-0851(代)

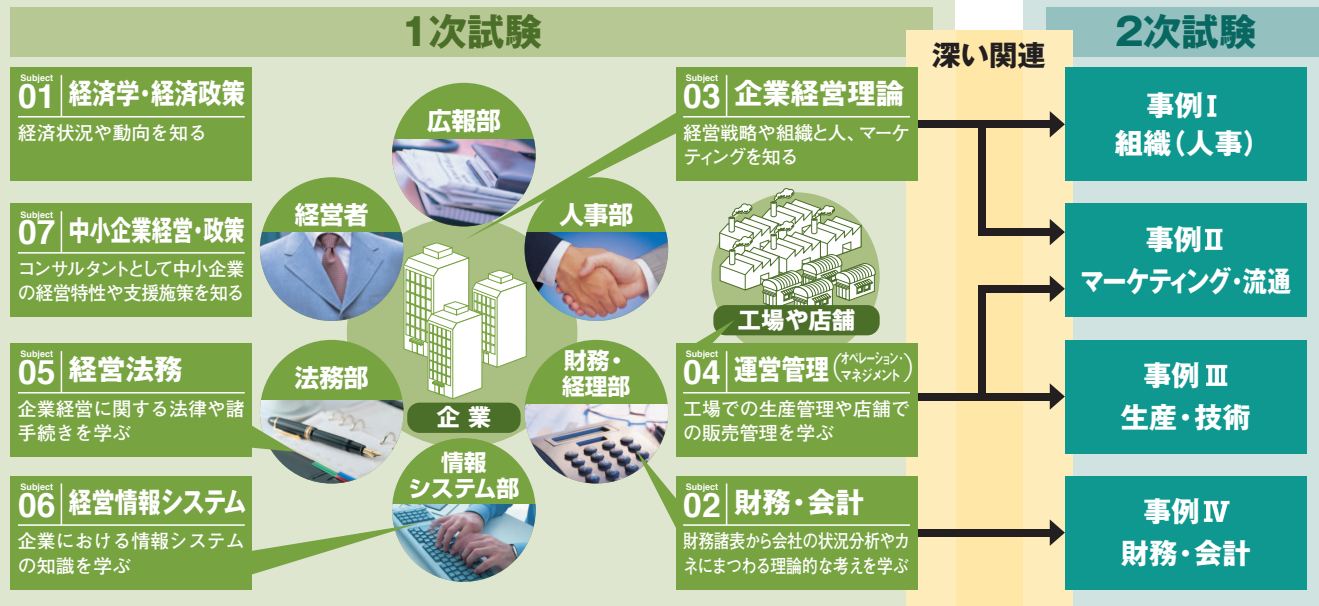
◆ホームページ <http://www.j-smeca.jp/>

★試験要項は、例年4月上旬～5月上旬に発表されます。

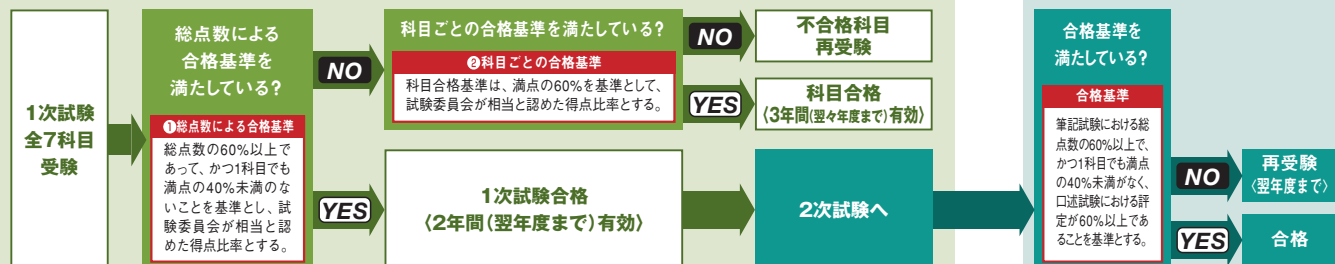
1・2次試験の全体像

▶ 中小企業診断士の試験科目と企業を取り巻く環境

中小企業診断士の試験科目は、一般的な企業の組織や業務内容と大変関わりが深い内容となります。会社の組織図から試験科目との関連を見ていきましょう。



▶ 1・2次試験合格までの流れ



1次試験の合格基準は、総点数による合格基準のほか、科目ごとにも設けられ、**3年以内**(合格年度含む)で全科目(7科目)に合格した時点で「1次試験合格」となります。1部の科目だけ合格した場合は「科目合格」とし、翌年度・翌々年度の試験では、**受験者の申請により**当該科目の試験が免除されます。

受験シミュレーション【○=合格 ×=不合格】

	1次試験							結果		2次筆記試験	2次口述試験
	01 経済学 政策	02 財務 会計	03 理 論 企 業 経 営	04 運 営 管 理	05 経 営 法 務	06 シ ス テ ム 経 営 情 報	07 中 小 企 業 経 営 策				
2011年度	○	×	×	×	○	×	○	3科目合格【科目合格】		—	—
	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓				
2012年度	免除申請	○	○	○	免除申請	○	免除申請	全7科目合格 1次試験合格	▶▶▶	×	—
2013年度	PASS								▶▶▶	○	2次試験合格

2011年度に3科目を合格(科目合格)、2012年度に3科目免除申請のうえ残りの4科目(総点数400点)を合格した時点で、全7科目合格となり、2012年度に「1次試験合格」となります。

上図では、2012年度および2013年度の2次筆記試験が受験できます。

1次試験科目ガイド

1次試験科目の学習内容と攻略のポイントを紹介します。

Subject 01	経済学・経済政策	関連資格	▶公認会計士 ▶不動産鑑定士	▶証券アナリスト など
---------------	----------	------	-------------------	----------------

▶出題範囲

国民経済計算の基本的概念／主要経済指標の読み方／財政政策と金融政策／国際収支と為替相場／主要経済理論／市場メカニズム／市場と組織の経済学／消費者行動と需要曲線／企業行動と供給曲線／産業組織と競争促進 等

◆公認会計士、不動産鑑定士などは科目免除されます。詳しくはP23「他資格等保有による免除対象者」をご確認ください。

▶概要と攻略ポイント

～経済動向は企業行動を決定する基軸～

経済学・経済政策では、マクロ経済学とミクロ経済学を中心に学習します。マクロ経済学は、大きく一国を単位とした経済活動(国民所得・投資・消費・貯蓄などの集計値)を分析するものであり、ミクロ経済学は、一企業や個人の経済活動(企業の生産活動や家計の消費活動など)を分析するものです。分析においては、グ

ラフと計算式という2つの手法を活用する必要があります。これら経済環境の変化を把握し、企業活動に対する影響を検討することは、ビジネス上における意思決定に必要な知識といえます。

Subject 02 財務・会計

関連資格

▶日商簿記
▶ファイナンスプランナー
▶税理士
▶公認会計士
▶CIA
▶ビジネス会計検定 など

▶出題範囲

簿記の基礎／企業会計の基礎／原価計算／経営分析／利益と資金の管理／キャッシュフロー(CF)／資金調達と配当政策／投資決定／証券投資論／企業価値／デリバティブとリスク管理 等

◆公認会計士、税理士などは科目免除されます。詳しくはP23「他資格等保有による免除対象者」をご確認ください。

▶概要と攻略ポイント

～企業の経営分析に必須の知識～

企業の財務状況等を把握し、その問題点を抽出する場合に、財務諸表等による経営分析は重要な手段となります。この財務諸表等から得られる数値(利益・資産・資金等の状況)を理解・分析するために必要な知識が財務・会計です。このように、企業経営の基本であり、重要科目でありながら、受験生にとっては苦手意識を持ち

やすい科目となっています。その理由としては、日頃の生活の中で財務・会計に接する機会がそれほど多くないこと、出題方式に計算問題が多く含まれることなどが挙げられます。また、この科目は2次試験の「事例Ⅳ(財務・会計)」に対応しており、応用力が求められることから、単なる暗記では対応が困難となります。まず講義で

Subject 03 企業経営理論

関連資格

▶社会保険労務士
▶公認会計士
▶CIA
など

▶出題範囲

■経営戦略論

経営計画と経営管理／企業戦略／成長戦略／経営資源戦略／競争戦略／技術経営(MOT)／国際経営(グローバル戦略)／企業の社会的責任(CSR) 等

■組織論

経営組織の形態と構造／経営組織の運営／人的資源管理 等

■マーケティング論

マーケティングの基礎概念／マーケティング計画と市場調査／消費者行動／製品計画／製品開発／価格計画／流通チャネルと物流／プロモーション／応用マーケティング 等

▶概要と攻略ポイント

～企業経営・企業診断の基礎～

この科目は、経営戦略論、組織論、マーケティング論の3つの内容で構成されています。事業領域の決定に関する「経営戦略論」、経営資源の人に関連する「組織論」、消費者のアプローチに関連する「マーケティング論」を学習していきます。これらは、企業の経営に関する現状分析および問題解決、将来の事業計画策定に必要不可

欠の知識といえます。また、企業に関するベーシックな論点であることから、1次試験だけでなく、2次試験の「事例Ⅰ(組織【人事を含む】)」と「事例Ⅱ(マーケティング・流通)」においても中心課題となる重要な科目と位置付けられています。

1次試験科目ガイド

あなたが手にする新しい知識とスキル。

Subject 04 運営管理 (オペレーション・マネジメント)

関連資格 ▶販売士
▶技術士 など

▶出題範囲	学習ボリューム	2次試験との関連	受験生の苦手意識
■生産管理 生産管理概論／生産のプランニング／生産のオペレーション 等	★★★★	★★★★	★★★★
■店舗・販売管理 店舗・商業集積／商品仕入・販売（マーチャダイジング）／商品補充・物流／流通情報システム 等			
▶概要と攻略ポイント			

～企業の現場に即した診断・助言に必須～
この科目の領域は、製造工程や品質管理等を中心とした「生産管理」に関する領域と、店舗施設や土地、販売・流通等を中心とした「店舗・販売管理」に関する領域の大きく2つに分類されます。中小企業診断士はクライアントの業種に関係なく、課題の抽出や立案を役割として期待されています

ので、企業の現場に即した問題点の把握や課題解決方法の提示を行なうために必要な知識となります。また、この科目は2次試験の「事例Ⅱ（マーケティング・流通）」と「事例Ⅲ（生産・技術）」に対応しています。実際の流通業や小売業、製造業の現場をイメージしながら学習を進めましょう。

Subject 05 経営法務

関連資格 ▶ビジネス実務法務検定
▶知的財産管理技能検定 ▶行政書士
▶司法書士 など

▶出題範囲	学習ボリューム	2次試験との関連	受験生の苦手意識
事業開始、会社設立及び倒産等に関する知識／知的財産権に関する知識／取引関係に関する法務知識／企業活動に関する法律知識／資本市場へのアクセスと手続 等 ◆弁護士等は科目免除されます。詳しくはP23「他資格等保有による免除対象者」をご確認ください。	★★★★	★★★★	★★★★
▶概要と攻略ポイント			

～ビジネス関連の法律知識を学習～
創業から株式上場あるいは知的財産権の活用など、企業経営は様々な法律の枠組みの中で行なわれています。その経営にまつわるビジネス関連の法律を中心に、諸制度、手続等に関する実務的な知識を学習するのが経営法務です。コンプライアンス（違法）経営が求められ、企業のリスク管理

の重要性が高まる中、中小企業診断士にとっても法務知識は不可欠といえます。また、状況に応じて弁護士等の専門家を活用することが望まれる場合、専門家とクライアントの橋渡しをする役割も求められます。学習上では、民法・会社法等の基本的な法律を中心に理解が必要となります。

Subject 06 経営情報システム

関連資格 ▶ITパスポート
▶CIA ▶技術士
▶ITコーディネータ など

▶出題範囲	学習ボリューム	2次試験との関連	受験生の苦手意識
■情報通信技術に関する基礎的知識 情報処理の基礎技術／情報処理の形態と関連技術／データベースとファイル／通信ネットワーク／システム性能 等	★★★★	★★★★	★★★★
■経営情報管理 経営戦略と情報システム／情報システムの開発／情報システムの運用管理／情報システムの評価／外部情報システム資源の活用／情報システムと意思決定 等			
▶概要と攻略ポイント			

～社内の情報・ネットワークの管理に不可欠～
この科目の対象領域は、大きく二つに分かれています。一つがIT、いわゆる情報技術に関する領域、そしてもう一つが企業における情報システムに関する領域です。ハードウェア、ソフトウェア、ネットワークなど技術的な知識とシステム構築の基礎を学習し

ます。この科目は、新しい情報・技術等を常にチェックする必要があります。技術的な領域に関しては2次試験に必要ありませんが、システム構築に関連する考え方や用語は、設問要求に合わせて、さまざまな形で記述できるように理解しておきましょう。

Subject 07 中小企業経営・政策

関連資格 ▶行政書士
▶公務員 など

▶出題範囲	学習ボリューム	2次試験との関連	受験生の苦手意識
■中小企業経営 経済・産業における中小企業の役割、位置づけ／中小企業の経営特性と経営課題 等	★★★★	★★★★	★★★★
■中小企業政策 中小企業に関する法規と政策／中小企業政策の役割と変遷 等			
▶概要と攻略ポイント			

～中小企業の実態や国の施策を知る～
この科目は、企業に対して的確なコンサルティングを行うための知識を身につけることを目的としています。「中小企業経営」は、中小企業の経営特性や経営課題、中小企業の実態（各種統計や経済・産業における中小企業の役割や位置付け）を理解する科目であり

「中小企業白書」からの出題が大半を占めます。「中小企業政策」は、国や地方自治体が講じている各種の施策について学習します。どちらも非常にボリュームが多く、暗記が中心となる科目となりますが、基本的には1次試験対策と考えて良いでしょう。

中小企業診断士試験を体験!!

2009年度
1次試験問題を見てみよう!
【企業経営理論】からの抜粋問題です。

企業経営理論【第25問】

- Q 消費者が買い求めるさまざまな商品は、購買習慣に基づいて、最寄品、買回品、専門品、非探索品に分類される。これらに関する以下の記述のうち、最も不適切なものはどれか。
- ア 購買頻度が高く、即座に商品が引き渡されることが要求され、かつ比較や購買に際して最小限の努力しか払おうとしない商品は最寄品に分類される。
- イ 専門品の購買行動では、消費者が買い物の途中で選好を明確にするが、買回品の場合、買い物出向に先駆けて選好が確立している。
- ウ 非探索品とは、消費者がその製品・サービスに対する必要性が生じるまでは意識したり、興味を抱いたりすることのないものを指す。
- エ 最寄品と買回品の区分は探索性向の水準の高低に基づいている。前者ではこの水準が極めて低く、後者では高くなっている。

用語解説 TAC中小企業診断士講座 基本テキスト「企業経営理論」より

消費財とは？

消費財は、消費者用品ともよばれ、最終消費者や家庭で使用される製品の総称であり、原則として再加工されたり、再販売されたりしない製品である。



消費財の種類・特徴

消費財は、購買特性によって最寄品、買回品、専門品、非探索品に分類され、それぞれ次のような特徴を持つ。

マーケティング要因	消費財の種類			
	最寄品	買回品	専門品	非探索品
消費者の購買行動	購買頻度は高い、計画性は少ない、比較や購買に対するの努力は小さい、顧客の関与は小さい	購買頻度は低い、計画性と購買の努力は大きい、価格、品質、スタイルに基づきブランドを比較	強力なブランド選好とロイヤリティ、特別な購買の努力、ブランドの比較に対して小さな努力、価格感応度は低い	製品の認知度や知識は低い（認知しているとしても、関心はほとんどないか、またはマイナス）
価格	低価格	価格は高め	高価格	さまざま
販売方法	幅広く販売、便利な立地	少数の店舗で選択的に販売	商圏ごとに1店ないし少数店舗で独占販売	さまざま
プロモーション	生産者によるマス・プロモーション	生産者と小売業者による広告と人的販売	生産者と小売業者による、慎重にターゲットを絞ったプロモーション	生産者と小売業者による積極的な広告と人的販売
例	歯磨、雑誌、洗濯用洗剤	大型家電、テレビ、家具、衣類	ロレックスの時計、良質のクリスタル製品などの贅沢品	生命保険、赤十字への献血

（「マーケティング原理 第9版」フィリップ・コトラー／ゲイリー・アームストロング和田充夫監訳 ダイアモンド社 p.351）

解 説

消費財の特徴に関する問題である。

ア ○：正しい。

イ ×：専門品は、強力なブランド選好やブランド・ロイヤリティを持つ消費財であるため、買い物出向に先駆けて選好が確立している。一方、買回品は、価格、品質、スタイルに基づいてブランドの比較に十分な時間をかける消費財であるため、買い物出向に先駆けて選好が確立しているわけではない（買い物の途中で徐々に選好が明確になる）。

ウ ○：正しい。非探索品とは、製品の認知度や知識が低いか、認知されても、ほとんど関心を示されない消費財である。生命保険や墓石などが代表例であるが、画期的な新製品の多くも非探索品に該当する。

エ ○：正しい。最寄品については消費者の比較や購買に対するの努力は小さく（探索性向の水準は低い）、買回品については消費者の計画性と購買の努力は大きく、価格、品質、スタイルに基づくブランド比較が行われる（探索性向の水準は高い）。

よって、イが正解である。

A 正解…イ

体験講義を受講しよう!

体験講義&ガイダンスDVDにて、「企業経営理論」の講義を体験受講できます。巻末ハガキにて無料でご請求ください。

※TACホームページ内の「TAC動画チャンネル」からも体験講義をご視聴いただけます。

TAC 動画チャンネル

検索

